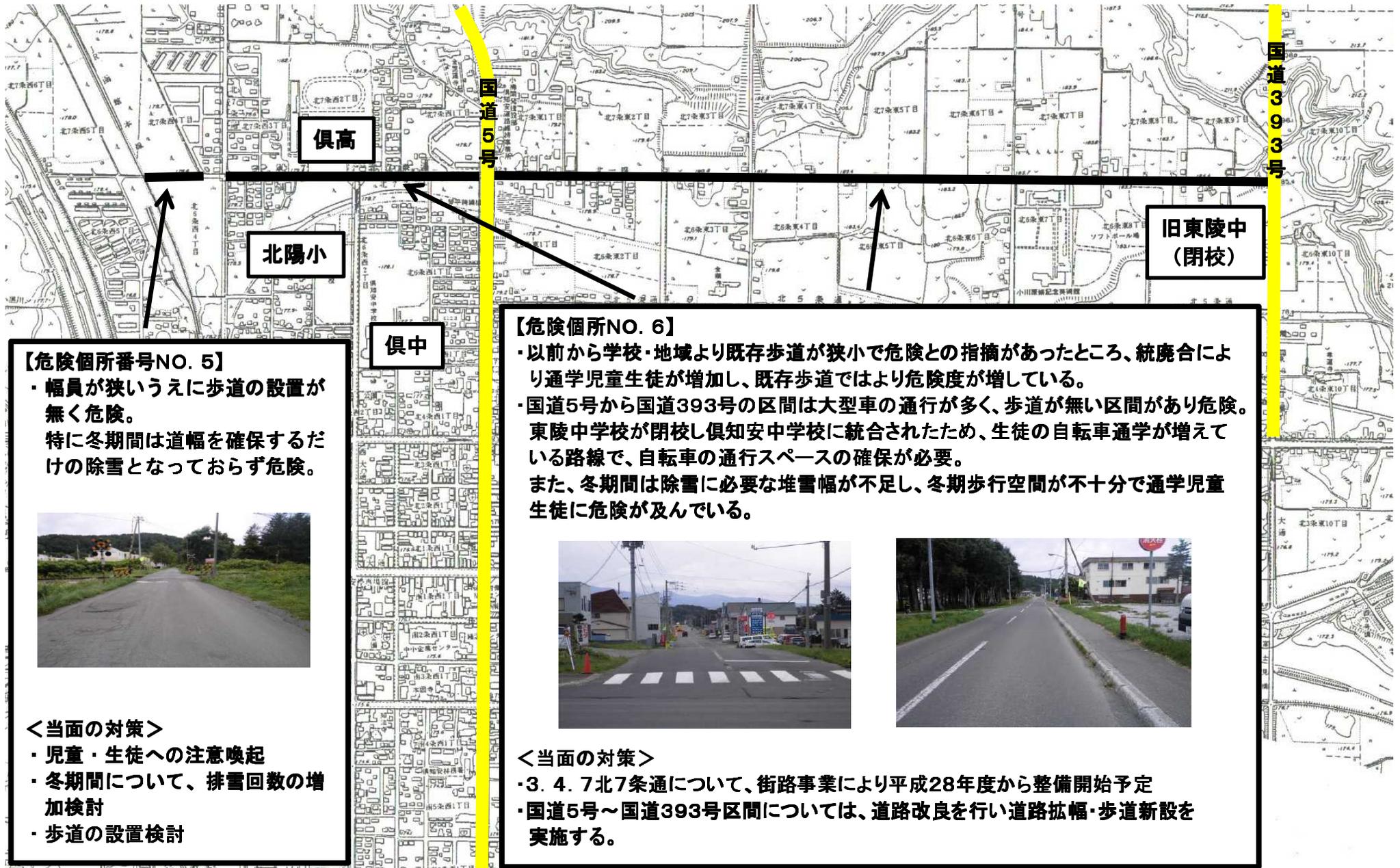


倶知安町 通学路対策箇所図(倶知安中学校・北陽小学校校区)



【危険箇所番号NO. 5】

- ・幅員が狭いうえに歩道の設置が無く危険。
特に冬期間は道幅を確保するための除雪となっておらず危険。



＜当面の対策＞

- ・児童・生徒への注意喚起
- ・冬期間について、排雪回数が増加検討
- ・歩道の設置検討

【危険箇所NO. 6】

- ・以前から学校・地域より既存歩道が狭小で危険との指摘があったところ、統廃合により通学児童生徒が増加し、既存歩道ではより危険度が増している。
- ・国道5号から国道393号の区間は大型車の通行が多く、歩道が無い区間があり危険。東陵中学校が閉校し倶知安中学校に統合されたため、生徒の自転車通学が増えている路線で、自転車の通行スペースの確保が必要。
また、冬期間は除雪に必要な堆雪幅が不足し、冬期歩行空間が不十分で通学児童生徒に危険が及んでいる。



＜当面の対策＞

- ・3. 4. 7北7条通について、街路事業により平成28年度から整備開始予定
- ・国道5号～国道393号区間については、道路改良を行い道路拡幅・歩道新設を実施する。